

交通指導員は 市民の安全・安心を守ります

平成21年三豊市交通指導員結団式



1月20日、三豊市交通指導員結団式を高瀬町農村環境改善センターで開催しました。

三豊市の交通指導員は、日ごろ地域の交通安全リーダーとして、通学時の立哨や地域の安全・安心に努めています。

結団式では、永年勤続者に感謝状が贈呈されたほか、岡田隊長より「市内での無事故を願ひ、郷土愛と奉仕の精神に徹し、地域住民の安全を守るため一致団結し、日々精進します」との宣誓がありました。

また、結団式後は国道11号交差点まで移動し、『シートベルト着用』や『飲酒運転追放!』などと書かれたのぼり旗を持ち、ドライバーに交通安全を訴えかけました。

交通指導員の皆さんにインタビュー

子どもたちの通学を笑顔で見守ってくれている交通指導員の皆さん。皆さんに、交通指導員になったきっかけや最近思うことなどを聞いてみました。



岡田幸雄さん（高瀬町）

少年育成センターの補導員をしていましたが、同じ補導員をしていた前任者の勇退により交通指導員になりました。

毎朝、みんなが無事で事故のないように思いをこめて、通る人、通る車、みんなにあいさつをするように心がけています。「おはようございます」と、元気に声をかけてくれる子どもたちが、このまま素直に健康で大きくなってほしいと願うばかりです。



磯野昭重さん（豊中町）

仕事を退職したときに、ちょうどお話しがあったので始めました。わたしたちの仕事は、登校時の安全を守るのが仕事です。わたしが立哨している交差点は、朝の交通量がたいへん多いので、特に注意して見えています。

子どもは地域の宝です。地域の人みんなで見守ってください。



眞鍋章憲さん（詫間町）

子どもたちはかわいいし、わたし自身子どもが好きなので続けられていると思います。子どもたちの笑顔をみていたら、ほんと幸せな気持ちになります。自分の体の調子が悪く立つことができなかつたときなどは、子どもたちから「どうしよつたんなあ」と心配してくれました。その一言が励みになります。元気なうちは子どもたちを見守っていたいです。





関 太郎さん(三野町)

三野町では、昭和45年に交通指導員が誕生し、前者からやめるときに薦められ、昭和47年10月、2代目交通指導員になりました。ここまで続けられたのは、子どもたちから「ありがとつの手紙」をいただいたり、地域の人が声をかけてくれたりと、みんなに励まされたから。また、町内の交通指導員との交流も支えになっています。



徳永和司さん(山本町)

交通指導員になろうと思ったきっかけは、ひとは地域に恩返しをしようと思って、もうひとつはやっぱり子どもが好きだからかな。朝、子どもたちとあいさつを交わすと、たいへん気持ちいいものです。子どもたちには本当に元気をもらっています。地域の宝である子どもたちをこれからも見守り続けていきたいです。



わたしたち交通指導員が、子どもたちの笑顔を守ります



子どもたちから「ありがとう」の気持ち

交通指導員の関太郎さんへ

下高瀬小学校 6年 嶋田拓弥

いつも寒い中、役場の前でほかたちの安全を守ってくださいありがとうございます。

太郎さんには、いつもお世話になっています。学校の帰りには、ピコの前を通ると手を振ってくれたりします。

ぼくは4月に中学生になります。中学生になってもお世話になると思うので、どうぞよろしく願います。

これから、いろんな人の安全を見守ってあげてください。まだ寒い日が続きますが、お体に気をつけてください。



川崎茂俊さん(財田町)

財田町に交通指導員制ができたのをきっかけに町の依頼で交通指導員を始めました。最近、車社の中で子どもたちが車に対して慣れっこになっていますが、歩道を歩くときも車に注意して、また、横断歩道を渡るときも信号だけに頼らず自分の目で確かめて渡ってください。運転手さんも、交通マナーを守りゆとりをもって運転してほしい。



喜田雄策さん(仁尾町)

皆さんに頼まれて始めた交通指導員ですが、子どもたちからの「元気なあいさつ」と「励ましのお手紙」のおかげでがんばって続けています。子どもたちには、本当に事故のない学校生活を送ってほしい。また、自転車の乗り方や信号の渡り方を指導していますが、みんな本当に素直です。このまま成長してほしいです。

